

竹とんぼ 飛ぶかな？



与えられたおもちゃではなく
自分で作った竹ざいくで、遊ぶ。
昔ならあたりまえのことが最近では少なくなった。
世代を超えて、楽しみ方を伝えるおじいちゃんたち。
そして、竹とんぼや竹馬を教えてもらう子どもたち…。

野山の草花も 命ある限り

茎の先端に穂状の花穂を一個つける。花穂が一本であることからこの名がついた。全国のいたるところの低山の樹林に自生する。



ヒトリシズカ

花は新芽が出る前に咲き、濃いピンク色で、低山に自生する落葉低木です。宮妻峡でよく見られます。



ミツバツツジ

山野草からのお願い

- 地元の山はみんなの宝です。
- 野山の草花はあなただけのものではありません。
- 可憐な草花は摘みとらないで見るだけにしましょう。
- 山菜や山野草は来年も楽しめるよう、根こそぎ採らないでね。



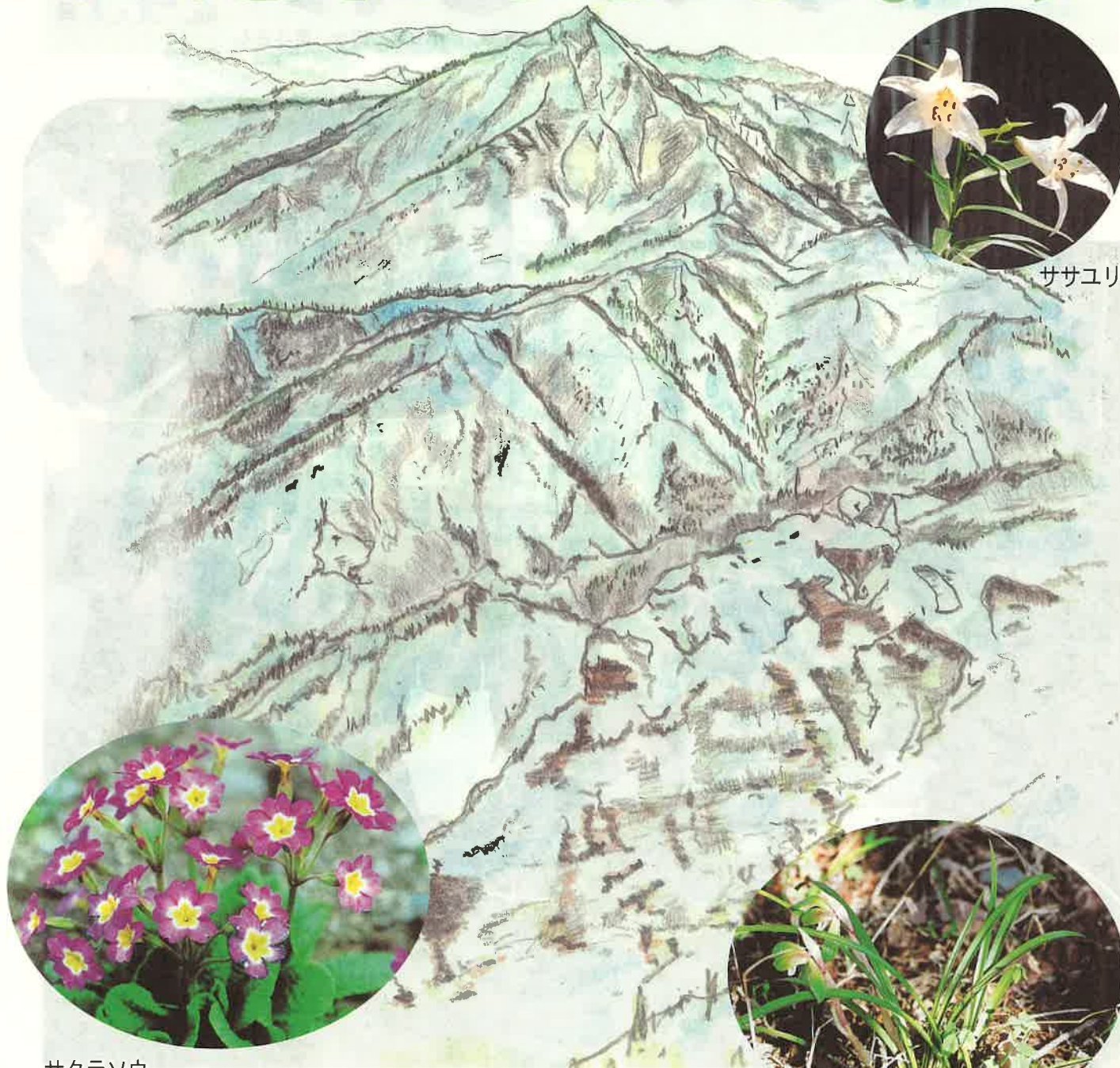
イカリソウ

錨形独特の尾のある花が数個、若葉と同時に咲きます。明るい山中、粗林の適湿地に自生する多年草です。雲母峰の麓でよく見られます。三月の終わりにから四月上旬に開花します。

いたわりましょう



ササユリ



サクラソウ



シュンラン

春浅い雑木林の日だまりに、ぽつぽつとシュンランが咲いています。洋蘭のシンビジウムの中で、中国産の名からシュンランと日本でも呼ばれるようになりました。

開いた花を塩漬けにして蘭茶として飲んだり、青い蕾や若い茎を酢の物やお吸い物の種にする習慣も残っています。最近、以前咲いていた場所を訪ねましたが花はなく、根こそぎ土を掘り返した跡があり、とても胸が痛みました。

水沢白寿会連合会 第四十回芸能大会で「優勝」

水沢白寿会連合会は昨年九月二十一日四日市市老人福祉大会の第二部に開催された芸能大会に『水沢江州音頭』で出演した。四十七団体老人会の中から、見事「優勝」の栄冠に輝き、同年十月二十四日市市老人会を代表して古典舞踊「江州音頭・松阪音頭」を「みえ高齢者健康文化祭」において披露しました。



水沢三二情報

農業集落排水事業

その後

昨年に引き続き西から順に宮妻・三本松・西條町の残り部分と谷・本町(本通り北側)地区の工事が始まります。作業場所が重なる区域は通行止も在ります。



所用の際は時間に余裕をもってお出掛けを……

茶屋町湯の山停車場線 道路拡幅



茶屋町湯の山停車場線が拡幅された。宮妻から薦野、四日市方面へ向かう場合に大変便利となった。ただし、スピードの出しすぎにはご注意ください。

ご寄付ありがとうございました

水沢地区社会教育福祉推進協議会では、地区の方々から寄せられました寄付金を、社会を明るくする運動、町民

森 治久様(東 町)
川北 智明様(東 町)
岡部長一郎様(北谷町)
山北 年雪様(北谷町)
清水 達雄様(東 町)

運動会、地区文化祭、青少年の健全育成事業や地区の環境づくりなどに活用させていただきます。今後とも、「生活改善運動」にご協力いただきますようお願いいたします。平成十三年十一月以降十四年三月末日までにご寄付いただいたのは、次の方々です。

編集後記

◎ 地区広報始まって以来はじめてカラー版を発行しました。

◎ すいざわは、四日市の中でも最も自然に恵まれた地域であり、自然の環境のなかで、可憐な山野草がいきづいています。

◎ その美しさを求めるあまり自然を破壊してしまうのは、人の身勝手な行動と言わざるを得ません。

◎ 農業環境を整備するために農業集落排水事業が着実に進められています。

◎ 水沢野田町、東町はすでに供用が開始されて3年が経過しようとしています。



ある晩、「お茶について教えて」と孫。

待ってましたとばかりに
おじいちゃん。

茶刈り、製茶機械、製茶の方法などについて話しました。

昔の話になるとさらに熱が入ります。

こうして、和気あいあい、無

すいざわと言え茶

お茶

事にメモをとり、発表会の資料ができあがりました。
当日は紺のモンペ、前掛け、茶摘み籠、茶バサミなど、道具も集まり発表会は大成功でした。

水沢といえばお茶、お茶と言え茶。
現在は、全自動のりっぱな工場が多くなったものの、わが家の工場はまだ手動。



最近の子どもたちは、お手伝いをしなくなったと聞きますが、わが家では、お茶がはじまると工場での蒸し場でお手伝いをしてくれま



近頃の学校では、地域の産業などについて学ぶ、総合学習がおこなわれています。
子どもたちは、それぞれの家庭と同じように地域にとっても大切な宝なのです。
暖かく、時には厳しく子どもたちを育みましょう。

